

生活科・社会科 授業デザイン

日	時：平成 25 年 1 2 月 6 日（金）第 5 校時（ 13 時 15 分～14 時 00 分）
学	年：小学部 2, 3 年(男子 2 名 女子 1 名)
授 業 場 所：	本校小学部 1 組教室

1. 単元（題材）名

- 2 年：秋から育てる野菜
- 3 年：農家で作られるもの

2. 単元（題材）の目標

（2 年）

- ・自分たちで育てている作物の成長の様子や変化に関心を持ち、栽培の喜びを味わい、親しみを深め、大切に世話をしようとしている。
- ・野菜を育てる活動を通して、それらの変化や成長の様子、世話をしていることなどを絵や文などで表現することができる。
- ・みんなで協力しながら野菜を育てる活動を通して、世話の仕方がわかり、それが自分たちと同じように生命を持っていることや成長していること、植物にあった世話の仕方があることに気付く。

（3 年）

- ・地域では、自然条件・社会条件を生かして人々が農業生産に関する仕事をしていて、日々のわたしたちの生活を支えていることが分かり、身近な農業生産活動の実際について、観察・調査したりすることを通して、仕事の特色や他地域との関わり、農業生産に携わる人々の工夫を具体的に考え、表現する。

3. 単元（題材）の指導計画

指導計画（2 年）（全 1 8 時間）

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第1、2時	秋に種をまく野菜にはどんなものがあるか調べ、自分が育てる野菜を決める。	
第3時	種のまき方や世話の方法を調べる。	
第4、5時	野菜を育てる準備をし、畑やプランターに種をまいたり、苗を植えたりする。	デジタルカメラ
第6～8時	継続して野菜の世話をし、野菜の成長の様子を観察する。	デジタルカメラ
第9時	農家を見学し、野菜の育て方について話を聞く。	デジタルカメラ
第10時	農家の方に教えてもらったことを参考にして野菜の世話をする。	
第11～13時 本時第12時	これまで観察記録として撮った写真をもとに、野菜の成長や世話の様子、栽培を通しての気付きなどを「ぼくのやさいづくり」としてまとめる。	T P C

第14時	分教室や藤城小学校の友達に「ぼくのやさいづくり」を伝え、感想を聞く。	TV会議システム
第15時	野菜の調理法を調べる。	TPC
第16時	調理の計画を立てる。	
第17～18時	野菜を収穫し、調理して食べる。	

指導計画(3年)(全12時間)

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第0時	(自立活動の時間に秋まきの野菜の種をまき、栽培する)	デジタルカメラ
第1時	学校の周りがある農家ではどのような農作物が作られているのかを調べる。	IWB
第2時	自分達が学校園で育てている野菜の世話を振り返り、学習問題をつくる。「井上さんの畑の野菜は、なぜよく育っているのだろう」	IWB
第4時	農家見学の計画をたて、予想する。	TPC
第5～6時	農家を見学し、インタビューをする。(自分達が育てている野菜と育ち方を比べることで、農家の方の工夫に気付く。)	デジタルカメラ
第7～8時	農家見学でわかったことを協働学習システムのページの付箋に書き込む。	IWB TPC
第9～11時 本時第9時	農家見学でわかったことを書き込んだ付箋をカテゴリーわけしながら、農家の仕事の工夫をまとめ、学習問題を解決する。	IWB TPC
第11時	農家の仕事についてまとめたことを分教室の友達に発表し、学習したことを交流する。	TV会議システム IWB TPC
第12時	出荷を中心に、農家の仕事と自分たちの生活がどのようにつながっているかを調べる。	IWB

4. 本時の目標

(2年)

- ・野菜作りで、気づいたことや工夫したことをまとめ発表することができる。

(3年)

- ・農家のしごとについて仕事の内容にそって分類することができる。

5. 本時の情報通信技術 (ICT) 活用

活用する場面	・導入 ・展開 ・まとめ
活用する者〔目的〕	・児童〔調べたことや、自分の考えをまとめ、発表する。〕 ・指導者 [・課題提示 教材の提示]
活用するコンテンツ	・コラボノート・自作コンテンツ
活用する機器	・IWB ・TPC

6. 本時の展開(2年)

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導入	<p>一斉学習</p> <p>学習のめあてを確認する。</p>	IWB(指導者)	<p>【本時の学習の手順が把握できるよう、IWBの画面で確認する。】</p>
展開	<p>「ぼくのさいばい日記」をつくるために、これまでの野菜の成長や世話の様子をまとめよう。</p>		
まとめ	<p>個別学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に選んでおいた写真をもとに野菜の種まきからこれまでの世話の様子や成長の様子を書き出す。 ・書き出したことの中から、大事なことやいちばん知らせたいことを選択する。 	T P C (生徒)	<p>協働学習システムを活用し、写真をもとに想起したことを付箋に書き込んでいくようにする。</p>
	<p>協働学習</p> <p>分教室の友達にわかりやすい「ぼくのさいばい日記」をつくるために、伝えたいことを3年生やゲストの方に発表し、感想やアドバイスをもらう。</p> <p>3年生の「農家のしごと」についての発表を聞き、感想を述べる。</p> <p>次時の学習内容を確認する。</p>	IWB(指導者)	<p>【児童の作成した協働学習システムのページをIWBで提示し、全体で共有できるようにする。】</p>

本時の展開(3年)

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導入 展開 まとめ	<p>一斉学習</p> <p>学習のめあてを確認する。</p>	IWB(指導者)	【本時の学習の手順が把握できるよう、でなかまわけの仕方を拡大提示して確認する。】
	<p>農家を見学してわかったことを なかまわけしてまとめよう。</p>		
	<p>個別学習</p> <p>農家の仕事について前時に書き込んだ付箋を仕事内容でなかま分けし、まとめる。(土づくり, 種まき, 世話, 収穫, 出荷などについてまとめる。)</p> <p>見学時に撮影した写真などを挿入する。</p>	T P C (生徒)	【前時に書き込んだ付箋をドラッグして分類するようにする。】
	<p>協働学習</p> <p>2年生の「ぼくのさいばい日記」の発表聞き、感想を述べる。</p> <p>協働学習システムのページでまとめたことを発表し, 2年生から感想をもらったり, ゲストからアドバイスをもらったりする。</p> <p>次時の学習内容を確認する。</p>	T P C (生徒)	<p>【制作した協働学習システムのページを全体で共有できるようにする。】</p> <p>・ 仕事の内容がわかりやすい適切な画像を挿入するようにする。</p> <p>・ 次時の学習に生かせるように, 大事なことはメモにとるようにする。</p>

7. 本時の評価 (評価の観点・観点別の評価を含む)

(2年)

- ・ 観察記録として撮った写真をもとに, 野菜の成長や世話の様子, 栽培を通しての気付きなどをまとめている。

(3年)

- ・ 農家の見学でわかったことを仕事の内容にそって分類している。

8. 準備物

IWB, T P C, デジタル教科書(自作コンテンツ, コラボノート)